

ASSIOMA のペダルアクスルは日々過酷な状況下において定期的（10～12ヶ月）なメンテナンスを心掛けるようにしてください。

作業内容はアクスル、およびアクスルを支えるパーツ類の清掃とグリスアップ、傷んだシールドベアリングやペダルアダプターの交換 等になります。

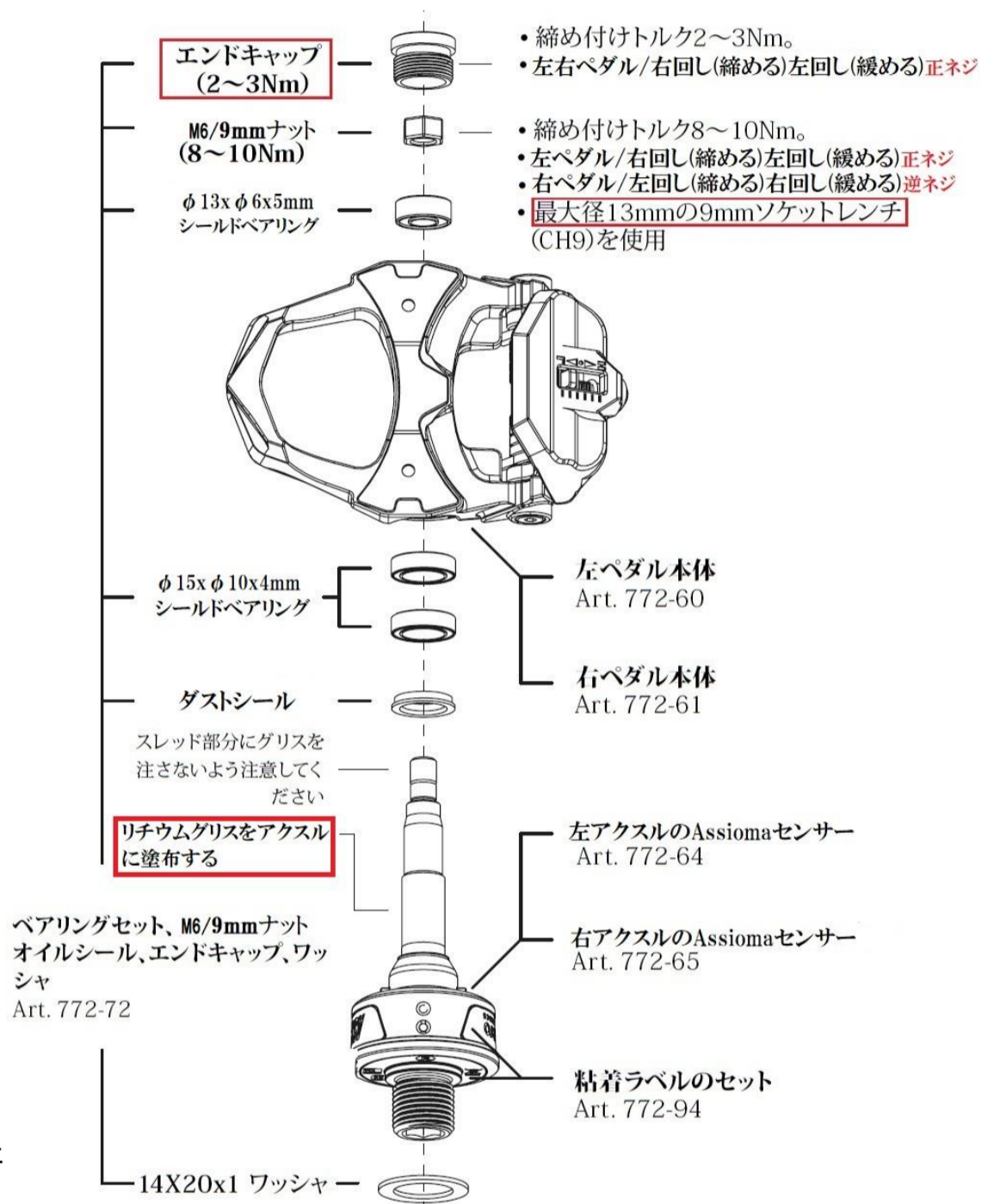
これらメンテナンスを行う事により、正確なペダリングと数値測定を補うことができます。

重要:メンテナンス作業は、ご購入先、もしくはスポーツ自転車専門店へご依頼ください。ご自身での作業は全てのリスクを十分理解した上で、自己責任において行ってください。

ASSIOMA UNO DUO

清掃とグリスアップ&シールドベアリング等の交換

- 1) エンドキャップを外します。(6mm/6角レンチ)正ネジ
 - 2) M6/9mm ナットを外します。(9mm/ソケットレンチ)
*(クランク取付け工具(8mm/6角レンチ)でアクスルの回転を固定してください。)
注:ペダルの左右でネジ切り方向が違います。
 - 3) センサーアクスルユニットをペダル本体から取り外します。
 - 4) シールドベアリングをハウジングから外します。
*取外しは、(6mm/6角レンチ/長目)等を使い各シールドベアリングの反対方向から押し出すように行ってください。
 - 5) 各部の汚れを布ウエス等で取り除きます。
*(バッテリー、センサー部、アクスル、シールドベアリング、ダストシール、ペダル内部)
 - 6) アクスルにダストシールを挿入し、各部にグリスを塗布します。(リチウムグリス)
*(アクスル部) (シールドベアリング/薄目に塗布)
注:アクスル先端の9mm ナット締付部は塗布しないでください。
 - 7) シールドベアリングを各ハウジングに挿入します。
*(シールドベアリングの挿入は、指で押し込むように行ってください。)
 - 8) アクスルをペダル内に挿入し、(M6/9mm ナット)で締め付けます。
注:ペダルの左右でネジ切り方向が違います。
重要:この時点では、まだアクスルのガタは残ります。
 - 9) エンドキャップを取付締め込みます。
重要:最後にエンドキャップを取り付け、締め込む事により(13x6x5)のシールドベアリングを固定しアクスルのガタを抑えることができます。
- * シールドベアリングを取り外した時にベアリングに異常(ガタ、錆、破損)等がございましたら(Art.772-72 Bearing set)をご購入いただき交換してください。
また、エンドキャップが破損していたり、紛失している場合も同様に(Art.772-72 Bearing set)をご購入いただきベアリングと共に交換してください。



⚠️ メンテナンスを必要とする実例

ペダル本体(外側)のダメージにより

エンドキャップが破損、紛失。

* 大きなガタが発生、正確なデータが拾えなくなり、水、粉塵が混入しシールドベアリングにもダメージを与える事になります。



2年間メンテナンスされず使用されたシールドベアリング (φ15xφ13x4mm)

* 全体的に錆が発生しガタもあります。

ASSIOMA DUO-Shi

清掃とグリスアップ

- 1) ペダル本体からセンサーアクスルユニット(アダプター付)を外します。
 * 19mm のスパナを使いペダルアダプターを緩め外します。
 作業時にはペダル本体をウエスで包み、バイス等で軽く固定してください。
注: ペダルの左右でアダプターのネジ切り方向が違います。
- 2) M6/9mm ナットを外す。(9mm/ソケットレンチ)
 * 作業時は工具(8mm/6 角レンチ)でクランク取付け部に差し込みアクスルの回転を固定してください。
注: ペダルの左右でナットのネジ切り方向が違います。
- 3) センサーアクスルユニットからペダルアダプターを外し各部の汚れを布ウエス等で取り除きます。
 *(バッテリー、センサー部、アクスル、シールドベアリング、ダストシール、O リング、ペダル内部)
- 4) アクスル、各部にグリスを塗布する。(O リング、シールドベアリング/薄目に塗布)
注: アクスル先端の 9mm ナット締付部は塗布しないようにしてください。
- 5) センサーアクスルユニットをペダルアダプター内に挿入し、(6M/9mm ナット)で締め付けます。
注: ペダルの左右でナットのネジ切り方向が違います。
- 6) ペダル本体にセンサーアクスルユニット(アダプター付)を取付けます。
注: ペダルの左右でアダプターのネジ切り方向が違います。

* 清掃、グリスアップを行ってもアクスルのガタが有る場合は、ペダルアダプターセット(Art.772-73)の交換が必要です。
 長期間メンテナンスを怠りますとペダルアダプター内部の**ブッシュ**が粉塵等の異物で擦り減り、ガタが発生してしまいます。
 時には、アクスルも痛めてしまう場合もございますのでご注意ください。

⚠️ メンテナンスを必要とする実例



アクスル本体に多くの擦り傷が入りペダルアダプター内の**ブッシュ**も同時に擦り減ってしまいます。

* 大きなガタが発生、正確なデータが拾えなくなる場合もございます。

